

「小山評定」を再現

静岡で徳川
みらい学会
栃木の劇団招き上演



軍議「小山評定」を再現した舞台＝静岡市葵区

栃木県小山市の市民
劇団「開運座」が16日、
現劇を静岡市葵区で
関ヶ原の戦いの直前
上演した。徳川時代の
に開かれたとされる
歴史的意義を研究、発

信する徳川みらい学
会の講演会に招かれ
た。

小山評定は、会津の
上杉景勝の討伐に向か
っていた家康と諸将が
石田三成らの挙兵を知
り、急ぎよ石田と対決
することを決めた軍議
とされる。

舞台では、団員15人
が甲冑(かっちゅう)
姿で登場。家康や井伊
直政、本多忠勝などの
武将に扮(ふん)し、
熱のこもった演技で評
定のやりとりを再現し
た。最後には、来場者
を巻き込んで「エイエ
イオー」と唱和する場
面もあった。

駆け付けた大久保寿
夫小山市長は「小山は
家康や多くの武将の運
を開いた土地」と述べ
た。静岡大の本多隆成
名誉教授は「関ヶ原の
戦いと小山評定」をテ
ーマに講演した。
(社会部・秋山瑛美)